

ガバナー事務局だより

松浦丸の船出から一ヶ月が経ちました。この間、7/15に地区クラブ活性化ワークショップをグラウンドパーク小樽で開催。7/18からは深川RCを皮切りにガバナー公式訪問がスタートしました。

地区クラブ活性化ワークショップでは、第一地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐の田中久夫(第2840地区高崎RC)PGにご講演とフォーラムのモデレーターを務めていただき、大変好評の中、終了することができました。

ただ、運営面で私たちの手落ちが数多あり、ご参加いただいた皆さまにご迷惑をお掛け致しました。詳細は割愛させていただきますがこの場をお借りしお詫び申し上げます。

スタートしたガバナー公式訪問では、夜間例会に当たったクラブではアルコールを含めた歓迎の懇親会を開催いただきました。胸襟を開いて松浦ガバナーとのロータリー談義に花を咲かせたとの報告を受けております。

10/14～15の地区大会に向けては、実行委員会、ガバナー事務局が車の両輪の如く連携して鋭意準備中です。要項・申込書をガバナー事務所から各クラブに送信させていただきましたが、こちらにも細かな手落ちが発覚し、皆さまにご迷惑をおかけしております。

小樽南RCとしては1989年以来34年ぶりの主管、小樽市としては2011年熊澤ガバナー年度以来12年ぶりの開催となります。前回とは社会経済情勢が大きく変わり、同様には計画できませんが、ただ一点「ロータリアンに感動を与える地区大会」目指し奮闘中です。皆さまのご支援ご協力よろしく願いいたします。

地区代表幹事

斎藤 仁

編集後記

寄稿頂きました皆様、原稿を集め校正にご尽力頂いている地区事務所の皆様のご支援とご協力により、ガバナー月信第2号を発行することができました。

ガバナー月信の制作期間、ちょうど小樽では市内最大のお祭り「おたる潮まつり」が開催されました。今年で57回目となる「おたる潮まつり」では潮音頭に合わせて踊りながら市内を練り歩く「潮ねりこみ」が最大の見せ場のひとつとなっています。小樽南RCと、親クラブである小樽RCさらに子クラブである小樽銭函RCと3クラブ合同で梯団をつくり「潮ねりこみ」に参加をしました。松浦ガバナーも応援にかけつけて頂き、猛暑のなか約2kmの道のりを皆笑顔で踊り切り、3クラブが結束して地域のお祭りを楽しみながらロータリーをPRする良いきっかけとなりました。

その最中、小樽市内の街頭放送で流れる潮音頭を聴きながら編集作業に追われていたガバナー月信委員会の編集委員たちでした。

皆様のご覧になっているガバナー月信が、期待に沿ったものであることを願っております。引き続きのご愛読をよろしく願い申し上げます。

2023-2024年度 ガバナー月信委員会 委員長

中山 仁史